



## ローカル認証および許可の設定

- [スイッチのローカル認証および許可の設定方法 \(1 ページ\)](#)
- [ローカル認証および許可のモニタリング \(3 ページ\)](#)
- [ローカル認証および許可の機能履歴 \(3 ページ\)](#)

## スイッチのローカル認証および許可の設定方法

ローカルモードで認証、許可、およびアカウンティング (AAA) を実装するようにスイッチを設定すると、サーバがなくても動作するように AAA を設定できます。この場合、スイッチは認証および許可の処理を行います。この設定ではアカウンティング機能は使用できません。



(注) AAA 方式を使用して HTTP アクセスに対しスイッチのセキュリティを確保するには、グローバル コンフィギュレーションモードで `ip http authentication aaa` コマンドを使用してスイッチを設定する必要があります。AAA 認証を設定しても、AAA 方式を使用した HTTP アクセスに対しスイッチのセキュリティは確保しません。

ローカルモードで AAA を実装するようにスイッチを設定して、サーバがなくても動作するように AAA を設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device> <b>enable</b>	特権 EXEC モードを有効にします。 パスワードを入力します (要求された場合)。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Device <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	<b>aaa new-model</b> 例： Device(config)# <b>aaa new-model</b>	AAA をイネーブルにします。
ステップ 4	<b>aaa authentication login default local</b> 例： Device(config)# <b>aaa authentication login default local</b>	ローカルユーザ名データベースを使用するログイン認証を設定します。 <b>default</b> キーワードにより、ローカルユーザデータベース認証がすべてのポートに適用されます。
ステップ 5	<b>aaa authorization exec default local</b> 例： Device(config)# <b>aaa authorization exec default local</b>	ユーザの AAA 許可を設定し、ローカルデータベースを確認して、そのユーザに EXEC シェルの実行を許可します。
ステップ 6	<b>aaa authorization network default local</b> 例： Device(config)# <b>aaa authorization network default local</b>	ネットワーク関連のすべてのサービス要求に対してユーザ AAA 許可を設定します。
ステップ 7	<b>username name [ privilege level] { password encryption-type password}</b> 例： Device(config)# <b>username your_user_name privilege 1 password 7 secret567</b>	ローカルデータベースを入力し、ユーザ名ベースの認証システムを設定します。 ユーザごとにコマンドを繰り返し入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>name</b> : ユーザ ID を 1 ワードで指定します。スペースと引用符は使用できません。</li> <li>• <b>level</b> : (任意) ユーザがアクセス権を取得した後に持つ特権レベルを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 15 です。レベル 15 では特権 EXEC モードでのアクセスが可能です。レベル 0 では、ユーザ EXEC モードでのアクセスとなります。</li> <li>• <b>encryption-type</b> : 暗号化されていないパスワードを指定する場合は 0 を入力します。非表示のパスワードを指定する場合は 7 を入力します。</li> <li>• <b>password</b> : スイッチにアクセスするためにユーザが入力しなければ</li> </ul>

	コマンドまたはアクション	目的
		ならないパスワードを指定します。パスワードは1～25文字で、埋め込みスペースを使用でき、 <b>username</b> コマンドの最後のオプションとして指定します。
ステップ 8	<b>end</b> 例： Device (config-line) # <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 9	<b>show running-config</b> 例： Device# <b>show running-config</b>	入力を確認します。
ステップ 10	<b>copy running-config startup-config</b> 例： Device# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) コンフィギュレーションファイルに設定を保存します。

## ローカル認証および許可のモニタリング

表 1: ローカル認証および許可を表示するためのコマンド

コマンド	目的
<b>show running-config</b>	ローカル認証および許可の設定を表示します。

## ローカル認証および許可の機能履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能	機能情報
Cisco IOS Release 15.2(7)E3k	ローカル認証および許可	ローカルモードでAAAを実装するようにデバイスを設定すると、サーバがなくても動作するようにAAAを設定できます。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェアイメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> [英語] からアクセスします。